

## クロチアニジン (案)

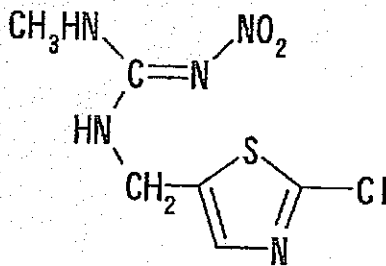
1. 品目名：クロチアニジン (clothianidin)

2. 用途：殺虫剤

ネオニコチノイド系殺虫剤である。作用機序は、主にニコチン性アセチルコリン受容体アゴニスト作用によるものと考えられる。

3. 化学名：(E)-1-(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イルメチル)-3-メチル-2-ニトログアニジン

4. 構造式及び物性



分子式  $C_6H_8ClN_5O_2S$   
 分子量 249.68  
 水溶解度 0.327 g/L (20°C)  
 分配係数  $\log Pow = 0.7$  (25°C)

(メーカー提出資料より)

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法

①フルスウィング (クロチアニジン 50.0%、登録番号：第 20733 号)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
芝	コガネムシ類幼虫	5000 倍	発生初期	4 回以内	1m <sup>3</sup> 当り 0.5~1L 散布	4 回以内
	シバツトガ スジキリヨトウ シハオサリウムシ				1m <sup>3</sup> 当り 0.5L 散布	

②ダントツ水溶剤 (クロチアニジン 16.0%、登録番号：第 20798 号)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数	
稲	ウンカ類 ツマク・ロヨハ・イ カメムシ類 イネト・ロオイムシ	4000 倍	60~150L /10a	収穫 14 日 前まで	3 回以内	散 布	4 回以内 (但し本田期は 3 回以内)	
	ウンカ類 カメムシ類	1000 倍	25L/10a					
稲 (箱育苗)	ウンカ類 イネト・ロオイムシ イネミス・ソウムシ	200 倍	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り500mL	移植 3 日前 ~移植当日	1 回	育苗箱の上 から均一に 散布する。		
きゅうり	シシトウアザミマ アブラムシ類 コナジラミ類	2000~ 4000 倍	150~300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散 布	4 回以内 (但し定植後は 3 回以内)	
メロン	アブラムシ類	4000 倍						
	コナジラミ類 シシトウアザミマ	2000~ 4000 倍						
	トマトハモク・リハ・エ	2000 倍						
すいか	アブラムシ類	4000 倍						
なす	シシトウアザミマ	2000 倍						
	アブラムシ類 マメハモク・リハ・エ コナジラミ類	2000~ 4000 倍						
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類 ハモク・リハ・エ類	2000~ 4000 倍 2000 倍	150~300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散 布	4 回以内 (但し定植後は 3 回以内)	
だいこん	アブラムシ類	2000~ 4000 倍		収穫 7 日 前まで	2 回以内		3 回以内 (但しは種後は 2 回以内)	
レタス				収穫 3 日 前まで	4 回以内		2 回以内	
ねぎ	ネキ・アザミウマ	2000 倍		収穫 7 日 前まで	3 回以内		4 回以内	4 回以内 (但し植付後は 3 回以内)
	ネキ・ハモク・リハ・エ							
ほろいしよ	アブラムシ類	4000 倍						
	テントウムシガ・マシ類	2000~ 4000 倍						
てんさい	テンサイトヒ・ラムシ	200 倍	5L/ℓ-ℓ-ポット 6冊(2.5L/m <sup>2</sup> )	定植前	1 回	苗床灌注	1 回	

②ダントツ水溶剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	加アジンを 含む農薬の 総使用回数		
りんご	キンモンホリカ キンモンモク'リカ シンクイムシ類 アブラムシ類 クワコナカイガラムシ	2000～ 4000倍	200～700 L/10a	収穫7日 前まで	3回以内	散 布	3回以内		
	な し			シンクイムシ類				収穫14日 前まで	
も も	カメムシ類	2000～ 4000倍		収穫7日 前まで					
	アブラムシ類	4000倍		2回以内					
	クワコナカイガラムシ	2000倍							
アブラムシ類 モモハモク'リカ シンクイムシ類 カメムシ類 コガネムシ類	2000～ 4000倍 2000倍	収穫前日 まで							
おうとう	オトコソウジ'ヨウ'イ	2000倍		収穫7日 前まで				3回以内	2回以内
う め	アブラムシ類	2000～ 4000倍		収穫14日 前まで					
ぶ どう	コナカイガラムシ類	2000倍		3回以内				3回以内	3回以内
	チャノキイロザ'ミマ フタデンヒメヨコハ'イ	2000～ 4000倍							
かんきつ	アブラムシ類 ミカンハモク'リカ アザミウマ類 ケシキスイ類 コアオハナムク'リ ツノロウムシ コナカイガラムシ類 ゴ'マタ'ラカミキリ カメムシ類 アゲハ類	2000～ 4000倍	200～700 L/10a	収穫7日 前まで	3回以内	散 布	3回以内		
	アカマルカイガラムシ							2000倍	
か き	カキノヒメヨコハ'イ	4000倍						3回以内	
	チャノキイロザ'ミマ カキクダ'アザ'ミマ フジコナカイガラムシ カキノハタムシカ'	2000～ 4000倍							
	カメムシ類	2000倍							
	だいず	アブラムシ類 カメムシ類							2000倍

②ダントツ水溶剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アブラムシ類	4000倍	200~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内		3回以内 (但し定植後は2回以内)
ピーマン	モモアガフラムシ シキイロアザミウマ	4000倍 2000倍	150~300 L/10a	収穫前日まで			
茶	チャノキイロアザミウマ チャノトリヒメヨコハ チャノホソガ	2000~ 4000倍	200~400 L/10a	摘採7日前まで	1回		1回
	コミカンアブラムシ	4000倍					
きく	マメハモクリハエ アザミウマ類	2000倍	100~300 L/10a	発生初期	4回以内		4回以内
	ばら	アブラムシ類 シキイロアザミウマ					
チューリップ		アブラムシ類					

注) 下線は、適用拡大申請中。

③ダントツ1キロ粒剤 (クロチアニジン 1.0%、登録番号: 第20799号)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマク・ロヨコハエ	1kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	4回以内 (但し本田期は3回以内)

④ダントツ粒剤 (クロチアニジン 0.50%、登録番号: 第20800号)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマク・ロヨコハエ	3kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	4回以内 (但し本田期は3回以内)
	カメムシ類	3~4kg/10a				
稲 (箱育苗)	イネミスリウムシ イネトロオイムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	移植3日前 ~移植当日	1回	育苗箱の 苗の上から 均一に 散布する	

④ダントツ粒剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クワアジンを 含む農薬の 総使用回数
きゅうり	アブラムシ類	1g/株	育苗期後半  定植時  鉢上時  定植時	1回	株元処理	4回以内 (但し定植後は 3回以内)
	コナジラミ類					
	アブラムシ類	1~2g/株				
	ミミキイロサミウマ	2g/株				
すいか	アブラムシ類	1~2g/株				
	ミミキイロサミウマ	2g/株				
メロン	コナジラミ類	1g/株				
	アブラムシ類	1~2g/株				
	ミミキイロサミウマ トマトハモク'リハ'エ	2g/株				
トマト ミニトマト	コナジラミ類	1g/株				
	アブラムシ類 マメハモク'リハ'エ	1~2g/株				
	トマトハモク'リハ'エ	2g/株				
なす	アブラムシ類 マメハモク'リハ'エ コナジラミ類	1g/株				
だいこん	アブラムシ類	3~6kg/10a	は種時		播溝処理 土壌混和	3回以内 (但しは種後は 2回以内)
ねぎ	ネギアザミウマ ネキ'ハモク'リハ'エ	3~6kg/10a	収穫3日 前まで	4回以内	株元散布	4回以内
ばれい しよ	アブラムシ類	6kg/10a	植付時	1回	植溝処理 土壌混和	4回以内 (但し植付後は 3回以内)
かんしよ	コガネムシ類				作条処理 土壌混和	1回
キャベツ	モモアカイア'ラムシ コナガ アオムシ	0.5g/株	育苗期 後半		株元処理	3回以内 (但し定植後は 2回以内)
ピーマン	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴処理 土壌混和	
かんきつ (苗圃)	ミカンハモク'リカ'	10~20g/樹	育苗期	3回以内	株元散布	3回以内
ばら	アブラムシ類	1~2g/株	発生初期	4回以内	生育期 株元散布	4回以内
	ミカンキイロサミウマ	2g/株				
きく	アブラムシ類	6kg/10a				
		1g/株				
	マメハモク'リハ'エ アザミウマ類	2g/株				

注) 下線は、適用拡大申請中。

⑤ダントツ粉剤DL (クロチアニジン 0.15%、登録番号：第20801号)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマク・ロヨコハ・イ カメムシ類	3~4kg/10a	収穫14日 前まで	3回以内	散布	4回以内 (但し本田期は 3回以内)
	イナゴ類	4kg/10a				
	イネト・ロオイムシ フタホト・コヤカ	3kg/10a				

⑥ダントツ箱粒剤 (クロチアニジン 1.5%、登録番号：第20827号)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ウンカ類 ツマク・ロヨコハ・イ イネミズゾウムシ イネト・ロオイムシ ニカメイチュウ	育苗箱(30× 60×3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り50g	移植3日前 ~移植当日	1回	育苗箱 の上から 均一に 散布する。	4回以内 (但し本田期は 3回以内)

⑦ダントツH粉剤DL (クロチアニジン 0.50%、登録番号：第21242号)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲	カメムシ類 ウンカ類 ツマク・ロヨコハ・イ イナゴ類	3~4kg/10a	収穫14日 前まで	3回以内	散布	4回以内 (但し本田期は 3回以内)
	イネト・ロオイムシ	3kg/10a				
だいず	アブラムシ類	3kg/10a	収穫7日 前まで			4回以内 (但しは種後は 3回以内)
	カメムシ類	4kg/10a				

注) 下線は、適用拡大申請中。

⑧ダントツフロアブル (クロチアニジン 20.0%、登録番号：第21258号)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマク・ロヨコハ・イ カメムシ類	5000倍	60~150L /10a	収穫14日 前まで	3回以内	散布	4回以内 (但し本田期 は3回以内)
	ウンカ類 カメムシ類	90倍	3L/10a			空中散布	
		24倍	800mL/10a			無人ヘリコプター による散布	

## 6. 作物残留試験結果

### (1) 分析の概要

分析対象の化合物

- ・ クロチアニジン

分析法の概要

クロチアニジンは、アセトン抽出し、CHEM ELUT™ カラム、Sep-Pak®アルミナ(N)及びシリカカートリッジで精製した後、高速液体クロマトグラフィー(UV 検出器)を用いて定量。

検出限界 0.002 ~ 0.04ppm。

### (2) 作物残留試験結果

稲(玄米)

稲(玄米)を用いた作物残留試験(2例)において、2.5%箱粒剤を50g/箱(移植当日育苗施用)及び16.0%水溶剤の4,000倍希釈液を計3回散布(150L/10a)したところ、散布後13<sup>注2)</sup>~28日の最大残留量<sup>注1)</sup>は0.13, 0.10 ppmであった。

稲(玄米)を用いた作物残留試験(2例)において、2.5%箱粒剤を50g/箱(移植当日育苗施用)及び1.0%1キロ粒剤を計3回散布(1kg/10a)したところ、散布後13<sup>注2)</sup>~28日の最大残留量は<0.004, 0.026 ppmであった。

稲(玄米)を用いた作物残留試験(2例)において、2.5%箱粒剤を50g/箱(移植当日育苗施用)及び0.15%粉剤DLを計3回散布(4kg/10a)したところ、散布後13<sup>注2)</sup>~28日の最大残留量は0.048, 0.023 ppmであった。

稲(玄米)を用いた作物残留試験(2例)において、2.5%箱粒剤を50g/箱(移植当日育苗施用)及び0.5%粒剤を計3回散布(4kg/10a)したところ、散布後14~22日の最大残留量は0.02, <0.01 ppmであった。

その他、稲(玄米)を用いた作物残留試験で、総使用回数を超えて試験がなされているものについては、参考としていない。

稲(稲わら)

稲(稲わら)を用いた作物残留試験(2例)において、2.5%箱粒剤を50g/箱(移植当日育苗施用)及び16.0%水溶剤の4,000倍希釈液を計3回散布(150L/10a)したところ、散布後13<sup>注2)</sup>~28日の最大残留量は0.11, 0.13 ppmであった。

稲(稲わら)を用いた作物残留試験(2例)において、2.5%箱粒剤を50g/箱(移植当日育苗施用)及び1.0%1キロ粒剤を計3回散布(1kg/10a)したところ、散布後13<sup>注2)</sup>~28日の最大残留量は0.12, 0.18 ppmであった。

稲(稲わら)を用いた作物残留試験(2例)において、2.5%箱粒剤を50g/箱(移植当日育苗施用)及び0.15%粉剤DLを計3回散布(4kg/10a)したところ、散布後13<sup>注2)</sup>~28日の最大残留量は0.12, 0.14 ppmであった。

稲(稲わら)を用いた作物残留試験(2例)において、2.5%箱粒剤を50g/箱(移植当日育苗施用)及び0.5%粒剤を計3回散布(4kg/10a)したところ、散布後14~22日の最大残留量は0.72, 0.26 ppmであった。

その他、稲(稲わら)を用いた作物残留試験で、総使用回数を超えて試験がな

されているものについては、参考としていない。

#### だいず(乾燥子実)

だいず(乾燥子実)を用いた作物残留試験(2例)において、0.5%粒剤を6 kg/10a(播種時播種溝処理土壌混和)及び16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布(150, 200 L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.01, <0.01 ppmであった。

だいず(乾燥子実)を用いた作物残留試験(2例)において、0.5%粒剤を6 kg/10a(播種時播種溝処理土壌混和)及び0.5%H粉剤DLを計3回散布(4 kg/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は<0.01, <0.01<sup>注3)</sup> ppmであった。

#### ばれいしょ

ばれいしょ(塊茎)を用いた作物残留試験(2例)において、0.5%粒剤を6 kg/10a(播種前播種溝処理土壌混和)及び16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布(150 L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.002, 0.016 ppmであった。

#### かんしょ(塊根)

かんしょ(塊根)を用いた作物残留試験(2例)において、0.5%粒剤を9 kg/10a、定植時植穴処理土壌混和として1回散布したところ、散布後104~116日の最大残留量は<0.01, <0.01 ppmであった。

#### てんさい(根部)

16.0%水溶剤の100倍希釈液を計1回散布(1 L/10a)したところ、散布後160~175日の最大残留量は<0.01, <0.01 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

#### だいこん(根部)

だいこん(根部)を用いた作物残留試験(2例)において、0.5%粒剤を6 kg/10a(播種前播種溝処理土壌混和)及び16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計2回散布(150, 200 L/10a)したところ、散布後7~14日の最大残留量は0.016, 0.014 ppmであった。

#### だいこん(葉部)

だいこん(葉部)を用いた作物残留試験(2例)において、0.5%粒剤を6 kg/10a(播種前播種溝処理土壌混和)及び16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計2回散布(150, 200 L/10a)したところ、散布後7~14日の最大残留量は0.84, 2.26 ppmであった。

#### だいこん(つまみ菜)

だいこん(つまみ菜)を用いた作物残留試験(1例)において、0.5%粒剤を6 kg/10a(播種前播種溝処理土壌混和)したところ、散布後10日の最大残留量は0.48 ppmであった。

#### だいこん(間引き菜)

だいこん(間引き菜)を用いた作物残留試験(1例)において、0.5%粒剤を6 kg/10a(播種前播種溝処理土壌混和)したところ、散布後22日の最大残留量は0.14 ppmであった。



#### キャベツ(葉球)

キャベツ(葉球)を用いた作物残留試験(2例)において、0.5%粒剤を2g/株(定植時植穴処理土壌混和)及び16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計2回散布(200, 300 L/10a)したところ、散布後3~14日の最大残留量は0.18, 0.16 ppmであった。

#### レタス(茎葉)

0.5%粒剤を2g/株(定植時植穴処理土壌混和)及び16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計2回散布(200, 300 L/10a)したところ、散布後3~14日の最大残留量は0.58, 1.33 ppmであった。ただし、この試験は適用範囲内で行われていない。

#### ねぎ(茎葉)

0.5%粒剤を6kg/10a、播種前播種溝処理土壌混和として1回、株元散布として4回散布したところ、散布後3~14日の最大残留量は0.05, 0.14 ppmであった。また、0.5%粒剤を6kg/10a(播種前播種溝処理土壌混和)及び16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計4回散布(150, 200 L/10a)したところ、散布後3~14日の最大残留量は0.09, 0.13 ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

#### トマト

施設栽培のトマト(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、0.5%粒剤を2g/株(定植時植穴処理土壌混和)及び16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布(250 L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.23, 0.12 ppmであった。

#### ピーマン(果実)

ピーマン(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、0.5%粒剤を2g/株(定植時植穴処理土壌混和)及び16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計2回散布(150~200, 200 L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は1.21, 1.02 ppmであった。

#### なす

施設栽培のなす(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、0.5%粒剤を2g/株(定植時植穴処理土壌混和)及び16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布(162.5~200, 200 L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.29, 0.38 ppmであった。

#### きゅうり

施設栽培のきゅうり(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、0.5%粒剤を2g/株(定植時植穴処理土壌混和)及び16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布(200, 300 L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.70, 0.22 ppmであった。

#### メロン

施設栽培のメロン(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、0.5%粒剤を2g/株(定植時植穴処理土壌混和)及び16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3

回散布（250, 300 L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.038, 0.012 ppmであった。

#### すいか

施設栽培のすいか（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、0.5%粒剤を2 g/株（定植時植穴処理土壌混和）及び16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布（250, 300 L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.022, 0.011 ppmであった。

#### 温州みかん(果肉)

施設・無袋栽培の温州みかん（果肉）を用いた作物残留試験(2例)において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布（400 L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.25, 0.086 ppmであった。

#### 21 温州みかん(果皮)

施設・無袋栽培の温州みかん（果皮）を用いた作物残留試験(2例)において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布（400 L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は3.24, 1.09 ppmであった。

#### 22 夏みかん(果肉)

夏みかん（果肉）を用いた作物残留試験(2例)において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布（500 L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.023, 0.29 ppmであった。

#### 23 夏みかん(果皮)

夏みかん（果皮）を用いた作物残留試験(2例)において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布（500 L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.36, 2.18 ppmであった。

#### 24 夏みかん(果実：果肉、果皮の重量比を用いて算出)

夏みかん（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布（500 L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.12, 0.73 ppmであった。

#### 25 すだち(果実)

すだち（果実）を用いた作物残留試験(1例)において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布（500 L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.30 ppmであった。

#### 26 かぼす(果実)

すだち（果実）を用いた作物残留試験(1例)において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布（500 L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.20 ppmであった。

#### 27 りんご

無袋栽培のりんご（果実）を用いた作物残留試験(2例)において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布（500 L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.16, 0.042 ppmであった。

#### 28 なし

無袋栽培のなし（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布（300, 500 L/10a）したところ、散布後13～14日の最大残留量は0.12, 0.12<sup>(注2)</sup> ppmであった。

29 もも(果肉)

無袋栽培のもも（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布（400 L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.12, 0.084 ppmであった。

30 もも(果皮)

無袋栽培のもも（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布（400 L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は1.00, 2.04 ppmであった。

31 うめ

うめ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布（500～800, 700 L/10a）したところ、散布後7～28日の最大残留量は0.97 ppmであった。（もう1例については、適用範囲内で試験が行われていないため、参考としていない。）

32 おうとう（果実）

施設栽培のおうとう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計2回散布（500, 625 L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は1.08, 1.96 ppmであった。

33 ぶどう(果実)

施設・無袋栽培のぶどう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布（300 L/10a）したところ、散布後14～56日の最大残留量は0.51(大粒種), 1.43(小粒種) ppmであった。

34 かき(果実)

かき（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計3回散布（400 L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.11, 0.14 ppmであった。

35 茶(荒茶)

茶（荒茶）を用いた作物残留試験（3例）において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計1回散布（400 L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は37.6, 2.42, 9.92 ppmであった。

36 茶(浸出液)

茶（浸出液）を用いた作物残留試験（3例）において、16.0%水溶剤の2,000倍希釈液を計1回散布（400 L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は36.4, 2.27, 8.70 ppmであった。

なお、これらの試験結果の概要については、別紙1を参照。

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期

間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。

（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」）

注2）経過日数13日の試験については、本来最大使用条件下として定められた14日の試験成績の誤差範囲内とみなし、当該試験成績を暴露評価の対象としている。

注3）だいち（乾燥子実）の圃場Eにおける試験については、定められた適用回数を超えて試験がなされているが、処理直後の降雨による再処理の結果によるものであることから、暴露評価の対象としている。

## 7．乳汁への移行試験結果

乳牛2頭に対し、クロチアニジン 14mg/頭/日を朝の搾乳直後に7日間連続して経口投与した。投与開始日、投与開始後1、3及び7日、最終投与後1、3及び5日に、搾乳機を用いて1日に2回搾乳し、同一日の試料を十分に攪拌し、分析試料としてクロチアニジン含量を測定したところ、いずれの試料においても、残留は検出されなかった。（検出限界 0.01ppm）

## 8．ADIの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、平成16年10月5日付厚生労働省発食安第1005002号により食品安全委員会あて意見を求めたクロチアニジンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：9.7 mg/kg 体重/day

（動物種） ラット

（投与方法） 混餌投与

（試験の種類） 慢性毒性/発がん性併合試験

（期間） 24ヶ月（発がん性）

安全係数：100

ADI：0.097 mg/kg 体重/day

## 9．諸外国における使用状況

コーデックス、米国、カナダ、欧州連合（EU）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国及びカナダで、とうもろこし、なたね、乳に基準値が設定されているが、その他の国、地域については、残留基準は設定されていない。

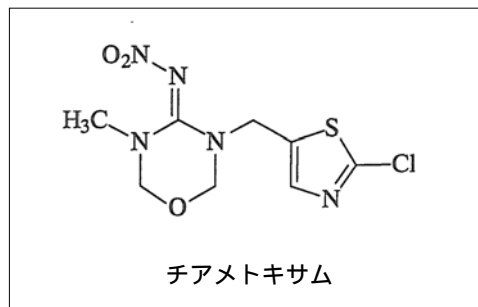
## 10．基準値案

### （1）残留の規制対象

クロチアニジン

ただし、クロチアニジンは、同じく殺虫剤であり、農薬として登録・使用がなされ

ているチアメトキサム（平成16年8月3日付厚生労働省発食安第0803001号により、食品安全委員会に意見聴取中）の代謝物でもあり、チアメトキサムの使用によるクロチアニジンの残留が認められている。基準値案は、クロチアニジン使用によるクロチアニジンの残留の他、チアメトキサム使用由来のクロチアニジンの残留も含め、設定した。



なお、登録保留基準及び米国等の基準にあっては、チアメトキサムの基準の対象として、チアメトキサム+チアメトキサム由来のクロチアニジンとしているが、食品衛生法上はチアメトキサムの基準はチアメトキサムのみを対象とすることとし、クロチアニジンの基準値の対象を、クロチアニジン+チアメトキサム由来のクロチアニジンとする。

## (2) 基準値案

別紙2のとおりである。

注) 基準値案の作成方法は、別紙3のとおり。クロチアニジン使用によるクロチアニジンの作物残留試験成績と、チアメトキサム使用によるクロチアニジンの作物残留試験成績がある場合、双方共に同一作物に使用された場合の最大残留量を考慮して定めた。記載のある作物残留試験成績のうち、右側の欄に示した試験成績（チアメトキサム由来クロチアニジン作物残留試験成績）は、チアメトキサム使用によるクロチアニジンの残留値を示したものである。

## (3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限まで又は作物残留試験成績等のデータから推定される量のクロチアニジン使用によるクロチアニジン及びチアメトキサム使用によるクロチアニジンが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大摂取量(TMDI)）のADIに対する比は、以下のとおりである。

	推定摂取量 / ADI(%) <sup>注)</sup>
国民平均	12.4
幼小児(1~6歳)	24.9
妊婦	10.6
高齢者(65歳以上)	13.5

注) TMDI 試算は、基準値案×摂取量の総和として計算している。

(試算の具体例) 国民平均の摂取量を用いた試算

食品名	基準値案 (ppm)	当該食品の 摂取量 (g/人/日)	残留試験成績 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	クロチアニジン 推定摂取量 ( $\mu$ g/人/日)
	(A)	(B)		(C)	(A×B)
米(玄米)	0.5	185.1	-	-	92.6
小麦	0.02	116.8	-	-	2.3
大麦	0.02	5.9	-	-	0.12
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
牛・豚・羊・馬・山羊の筋肉、 脂肪及びその他の内臓	0.02	*1 57.5	-	-	1.2
乳	0.01	142.7	-	-	1.4
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
計					643.4
ADI比(%)					12.4

\*1 「牛・豚・羊・馬・山羊の筋肉及び脂肪」と「牛・豚・羊・馬・山羊のその他の内臓」の摂取量の合計である。

(4) 本剤については、平成16年8月に公表した食品中に残留する農薬、動物用医薬品及び飼料添加物の暫定基準(第2次案)に含まれているが、今般、農薬取締法に基づく登録拡大申請により残留基準を設定するため、暫定基準(案)から削除する。

## クロチアニジン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件			経過日数	最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数		
稲 (玄米)	2	2.5%箱粒剤 + 16.0%水溶剤	移植当日育苗施用 50g/箱 4,000倍散布 150L/10a	1+3回	14,21,28日	圃場A:0.13(1+3回,21日)
					13,20,27日	圃場B:0.10(1+3回,13日)(#)
稲 (玄米)	2	2.5%箱粒剤 + 1.0%1キ口粒剤	移植当日育苗施用 50g/箱 1kg/10a	1+3回	14,21,28日	圃場A:<0.004
					13,20,27日	圃場B:0.026(1+3回,13日)(#)
稲 (玄米)	2	2.5%箱粒剤 + 0.15%粒剤DL	移植当日育苗施用 50g/箱 4kg/10a	1+3回	14,21,28日	圃場A:0.048(1+3回,21日)
					13,20,27日	圃場B:0.023(1+3回,13日)(#)
稲 (玄米)	2	2.5%箱粒剤 + 0.5%粒剤	移植当日育苗施用 50g/箱 4kg/10a	1+3回	7,14,22日	圃場C:0.02
					7,14,21日	圃場D:<0.01
稲 (玄米)	2	16.0%水溶剤 + 2.5%箱 粒剤 + 0.5%H粉剤DL	移植当日育苗施用 200倍散布 0.5L/箱、50g/箱、4kg/10a	2+3回	7,14,21,28日	圃場A:0.07(2+3回,14日)(#) 圃場J:0.09(2+3回,14日)(#)
稲 (玄米)	2	16.0%水溶剤 + 2.5%箱 粒剤 + 16.0%水溶剤	移植当日育苗施用 200倍散布 0.5L/箱、50g/箱、4,000倍 150L/10a	2+3回	7,14,21,28日	圃場A:0.14(2+3回,14日)(#) 圃場J:0.12(2+3回,21日)(#)
稲 (玄米)	2	16.0%水溶剤 + 2.5%箱 粒剤 + 0.5%粒剤	移植当日育苗施用 200倍散布 0.5L/箱、50g/箱、4kg/10a	2+3回	7,14,21,28日	圃場A:0.01(2+3回,14日)(#) 圃場J:0.02(2+3回,21日)(#)
稲 (玄米)	2	16.0%水溶剤 + 2.5%箱 粒剤 + 20.0%フロアブル	移植当日育苗施用 200倍散布 0.5L/箱、50g/箱、5,000倍 150L/10a	2+3回	7,14,21,28日	圃場A:0.12(2+3回,21日)(#) 圃場J:0.13(2+3回,14日)(#)
稲 (玄米)	3	16.0%水溶剤 + 2.5%箱 粒剤 + 20.0%フロアブル	移植当日育苗施用 200倍散布 0.5L/箱、50g/箱、24倍 0.8L/10a RCH 散布	2+3回	7,14,21,28日	圃場 :0.04(2+3回,21日)(#)
				2+4回	7,14,20,28日	圃場1:0.16(2+3回,14日)(#)
稲 (玄米)	2	16.0%水溶剤 + 2.5%箱 粒剤 + 16.0%水溶剤	移植当日育苗施用 200倍散布 0.5L/箱、50g/箱、1,000倍 25L/10a	2+3回	7,14,21,28日	圃場A:0.10(2+3回,14日)(#) 圃場H:0.02(2+3回,14日)(#)
稲 (稲わら)	2	2.5%箱粒剤 + 16.0%水溶剤	移植当日育苗施用 50g/箱 4,000倍散布 150L/10a	1+3回	14,28,42日	圃場A:0.11
					13,20,27日	圃場B:0.13(1+3回,13日)(#)
稲 (稲わら)	2	2.5%箱粒剤 + 1.0%1キ口粒剤	移植当日育苗施用 50g/箱 1kg/10a	1+3回	14,28,42日	圃場A:0.12
					13,20,27日	圃場B:0.18(1+3回,13日)(#)
稲 (稲わら)	2	2.5%箱粒剤 + 0.15%粒剤DL	移植当日育苗施用 50g/箱 4kg/10a	1+3回	14,28,42日 13,20,27日	圃場A:0.12 圃場B:0.14(1+3回,13日)(#)

## クロチアニジン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件			最大残留量 (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
稲 (稲わら)	2	2.5%箱粒剤 + 0.5%粒剤	移植当日育苗施用 50g/箱 4kg/10a	1+3回	7,14,22日	圃場C:0.72
					7,14,21日	圃場D:0.26
稲 (稲わら)	2	16.0%水溶剤 + 2.5%箱 粒剤 + 0.5%H粉剤DL	移植当日育苗施用 200倍散布 0.5L/箱、50g/箱、4kg/10a	2+3回	7,14,21,28日	圃場A:0.28(2+3回,14日)(#) 圃場J:2.75(2+3回,14日)(#)
稲 (稲わら)	2	16.0%水溶剤 + 2.5%箱 粒剤 + 16.0%水溶剤	移植当日育苗施用 200倍散布 0.5L/箱、50g/箱、4,000倍 150L/10a	2+3回	7,14,21,28日	圃場A:0.18(2+3回,14日)(#) 圃場J:0.78(2+3回,21日)(#)
稲 (稲わら)	2	16.0%水溶剤 + 2.5%箱 粒剤 + 0.5%粒剤	移植当日育苗施用 200倍散布 0.5L/箱、50g/箱、4kg/10a	2+3回	7,14,21,28日	圃場A:0.17(2+3回,14日)(#) 圃場J:2.16(2+3回,21日)(#)
稲 (稲わら)	2	16.0%水溶剤 + 2.5%箱 粒剤 + 20.0%フロアブ ル	移植当日育苗施用 200倍散布 0.5L/箱、50g/箱、5,000倍 150L/10a	2+3回	7,14,21,28日	圃場A:0.12(2+3回,21日)(#) 圃場J:1.02(2+3回,14日)(#)
稲 (稲わら)	3	16.0%水溶剤 + 2.5%箱 粒剤 + 20.0%フロアブ ル	移植当日育苗施用 200倍散布 0.5L/箱、50g/箱、24倍 0.8L/10a RCH 散布	2+3回	7,14,21,28日	圃場 :0.84(2+3回,21日)(#)
					7,14,20,28日	圃場1:2.64(2+3回,14日)(#)
				2+4回	7,14,21,28日	圃場2:2.28(2+4回,14日)(#)
稲 (稲わら)	2	16.0%水溶剤 + 2.5%箱 粒剤 + 16.0%水溶剤	移植当日育苗施用 200倍散布 0.5L/箱、50g/箱、1,000倍 25L/10a	2+3回	7,14,21,28日	圃場A:1.07(2+3回,14日)(#) 圃場H:0.54(2+3回,14日)(#)
だいず (乾燥子実)	2	0.5%粒剤 + 16.0%水溶剤	播種時播溝処理土壌混和 6kg/10a 2,000倍散布 150,200L/10a	1+3回	7,14,21日	圃場E:0.01
						圃場F:<0.01
だいず (乾燥子実)	2	0.5%粒剤 + 0.5%H粉剤DL	播種時播溝処理土壌混和 6kg/10a 4kg/10a	1+4回	7,13,20日	圃場E:<0.01(\$)
				1+3回	7,14,21日	圃場F:<0.01
ばれいしょ (塊茎)	2	0.5%粒剤 + 16.0%水溶剤	播種前播溝処理土壌混和 6kg/10a 2,000倍散布 150L/10a	1+3回	7,14,21日	圃場A:0.002(1+3回,14日) 圃場G:0.016(1+3回,14日)



## クロチアニジン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件			最大残留量 (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
かんしょ (塊根)	2	0.5%粒剤	定植時作条処理土壌混和 9kg/10a	1回	116日	圃場A:<0.01
					104日	圃場H:<0.01
てんさい (根部)	2	16.0%水溶剤	100倍散布 定植時苗床灌注 1L/冊	1回	160,167,174日	圃場E:<0.01(#)
					161,168,175日	圃場 :<0.01(#)
だいこん (根部)	2	0.5%粒剤 + 16.0%水溶剤	播種時播溝処理土壌混和 6kg/10a 2,000倍散布 150,200L/10a	1+2回	3,7,14日	圃場I:0.016(1+2回,14日) 圃場H:0.014
だいこん (葉部)	2	0.5%粒剤 + 16.0%水溶剤	播種時播溝処理土壌混和 6kg/10a 2,000倍散布 150,200L/10a	1+2回	3,7,14日	圃場I:0.84 圃場H:2.26
だいこん (つまみ菜)	1	0.5%粒剤	播種時播溝処理土壌混和 6kg/10a	1回	10日	圃場A:0.48
だいこん (間引き菜)	1	0.5%粒剤	播種時播溝処理土壌混和 6kg/10a	1回	22日	圃場J:0.14
キャベツ (葉球)	2	0.5%粒剤 + 16.0%水溶剤	定植時作条処理土壌混和 2g/株 2,000倍散布 200,300L/10a	1+2回	3,7,14日	圃場A:0.18 圃場I:0.16
レタス (茎葉)	2	0.5%粒剤 + 16.0%水溶剤	定植時作条処理土壌混和 2g/株 2,000倍散布 200,300L/10a	1+2回	3,7,14日	圃場A:0.58(1+2回,3日)(#) 圃場G:1.33(1+2回,3日)(#)
ねぎ (茎葉)	2	0.5%粒剤	播種時播溝処理土壌混和 6kg/10a + 4回株元散布	1+4回	3,7,14日	圃場A:0.05(1+4回,3日)(#) 圃場B:0.14(1+4回,3日)(#)
ねぎ (茎葉)	2	0.5%粒剤 + 16.0%水溶剤	播種時播溝処理土壌混和 6kg/10a 2,000倍散布 150,200L/10a	1+4回	3,7,14日	圃場A:0.09(1+4回,3日)(#) 圃場B:0.13(1+4回,3日)(#)
トマト (果実)	2	0.5%粒剤 + 16.0%水溶剤	定植時作条処理土壌混和 2g/株 2,000倍散布 200,300L/10a	1+3回	1,3,7日	圃場A:0.23(1+3回,7日) 圃場K:0.12
ピーマン (果実)	2	0.5%粒剤 + 16.0%水溶剤	定植時作条処理土壌混和 2g/株 2,000倍散布 150-200,200L/10a	1+2回	1,3,7日	圃場A:1.21 圃場B:1.02
なす (果実)	2	0.5%粒剤 + 16.0%水溶剤	定植時作条処理土壌混和 2g/株 2,000倍散布 162.5-200,200L/10a	1+3回	1,3,7日	圃場A:0.29(1+3回,3日) 圃場B:0.38

## クロチアニジン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件			最大残留量 (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
きゅうり (果実)	2	0.5%粒剤 + 16.0%水溶剤	定植時作条処理土壌混和 2g/株 2,000倍散布 300,200L/10a	1+3回	1,3,7日	圃場L:0.70 圃場B:0.22
メロン (果実)	2	0.5%粒剤 + 16.0%水溶剤	定植時作条処理土壌混和 2g/株 2,000倍散布 250,300L/10a	1+3回	1,3,7日	圃場A:0.038(1+3回,3日) 圃場K:0.012(1+3回,3日)
すいか (果実)	2	0.5%粒剤 + 16.0%水溶剤	定植時作条処理土壌混和 2g/株 2,000倍散布 250,300L/10a	1+3回	1,3,7日	圃場A:0.022 圃場B:0.011(1+3回,7日)
温州みかん (果肉)	2	16.0%水溶剤	2,000倍散布 400L/10a	3回	7,14,21日	圃場M:0.25 圃場H:0.086(3回,14日)
温州みかん (果皮)	2	16.0%水溶剤	2,000倍散布 400L/10a	3回	7,14,21日	圃場M:3.24 圃場H:1.09(3回,14日)
夏みかん (果肉)	2	16.0%水溶剤	2,000倍散布 500L/10a	3回	7,14,21日	圃場N:0.023(3回,21日) 圃場O:0.29
夏みかん (果皮)	2	16.0%水溶剤	2,000倍散布 500L/10a	3回	7,14,21日	圃場N:0.36(3回,21日) 圃場O:2.18(3回,14日)
夏みかん (果実)	2	16.0%水溶剤	2,000倍散布 500L/10a	3回	7,14,21日	圃場N:0.12(3回,21日) 圃場O:0.73(3回,14日)
すだち (果実)	1	16.0%水溶剤	2,000倍散布 500L/10a	3回	7,14,21日	圃場P:0.30
かぼす (果実)	1	16.0%水溶剤	2,000倍散布 500L/10a	3回	7,14,21日	圃場O:0.20
りんご (果実)	2	16.0%水溶剤	2,000倍散布 500L/10a	3回	7,14,21日	圃場F:0.16 圃場C:0.042
なし (果実)	2	16.0%水溶剤	2,000倍散布 300,500L/10a	3回	1,6,13日 1,7,14日	圃場α:0.12(1+3回,13日)(#) 圃場P:0.12
もも (果肉)	2	16.0%水溶剤	2,000倍散布 400L/10a	3回	7,14,21日	圃場Q:0.12 圃場R:0.084(3回,14日)

## クロチアニジン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件			最大残留量 (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
もも (果皮)	2	16.0%水溶剤	2,000倍散布 400L/10a	3回	7,14,21日	圃場Q:1.00 圃場R:2.04
うめ (果実)	2	16.0%水溶剤	2,000倍散布 700,500-800L/10a	3回	7,14,21,28日	圃場C:0.97 圃場K:1.12(3回,7日)(#)
おうとう (果実)	2	16.0%水溶剤	2,000倍散布 500,625L/10a	3回	1,3,7,14日	圃場S:1.08 圃場T:1.96
ぶどう (果実)	2	16.0%水溶剤	2,000倍散布 300L/10a	3回	14,28,42,56日	圃場K:0.51 圃場U:1.43(3回,28日)
かき (果実)	2	16.0%水溶剤	2,000倍散布 400L/10a	3回	7,13,21日 7,14,21日	圃場V:0.11 圃場W:0.14
茶 (荒茶)	3	16.0%水溶剤	2,000倍散布 400L/10a	1回	7,14,21日	圃場X:37.6 圃場Y:2.42(1回,14日) 圃場Z:9.92
茶 (浸出液)	3	16.0%水溶剤	2,000倍散布 400L/10a	1回	7,14,21日	圃場X:36.4 圃場Y:2.27 圃場Z:8.70

\* 各試験区の果肉/果皮重量比 (圃場N:72%/28%、圃場O:70%/30%) を用いて算出した。

# これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

\$ だいず (乾燥子実) の圃場Eにおける試験については、定められた適用回数を超えて試験がなされているが、処理直後の降雨による再処理の結果によるものであることから、暴露評価の対象としている。

印で示した作物については、申請の範囲内で最高の値を示した括弧内に示す条件において得られた値を採用した。

最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

また、太字斜体で示した経過日数(13日)の試験については、

本来最大使用条件下として定められた14日の試験成績の誤差範囲内とみなし、当該試験成績を暴露評価の対象としている。

なお、食品安全委員会農薬専門調査会の農薬評価書「クロチアニジン」に記載されている作物残留試験成績は、各試験条件における残留農薬の最高値及び各試験場、検査機関における最高値の平均値を示したものであり、上記の最大残留量の定義と異なっている。

食品名	基準値案 ppm	クロチアニジン					チアマトキサム					暫定基準案 (2次案)	
		登録有無	参考基準値			作物残留試験成績 ppm	登録有無	参考基準値			チアマトキサム由来 クロチアニジン 作物残留試験成績 ppm		
			登録保留 基準値 ppm	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm			登録保留 基準値 ppm	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm			
米(玄米をいう)	0.5		0.5			0.13,0.10/<0.004,0.026/ 0.02,0.023	登録申請中	0.1		0.02	カナダ	<0.005,<0.005	0.5
小麦	0.02								0.02		アメリカ	<0.009(n=31)(+)	0.01
大麦	0.02								0.02		アメリカ	<0.01(n=18)(+)	0.01
ライ麦	0.02								0.02		カナダ		
とうもろこし	0.01			0.01	アメリカ				0.02		アメリカ		0.01
そば	0.02								0.02		カナダ		
その他の穀類	0.02								0.02		アメリカ	<0.01(n=20)(+)	0.01
大豆	0.1	登録申請中				0.01,<0.01/<0.01,<0.01			0.02		アメリカ	<0.005(#),<0.005(#)	
小豆類(いんげん、ささげを含む)	0.3							0.5	0.02		アメリカ	0.054(\$),<0.005	0.3
えんどう	0.02							0.5	0.02		アメリカ	<0.01-0.02(n=10)(+)	0.3
そらまめ	0.02							0.5	0.02		アメリカ	[米国えんどうを参考]	0.3
らっかせい	0.02							0.5	0.02		カナダ		0.3
その他の豆類	0.02							0.5	0.02		アメリカ	[米国えんどうを参考]	0.3
ばれいしょ	0.25		0.1					0.5	0.25		アメリカ	<0.01(n=32)/<0.01(n=32)/ <0.01(n=30)/0.019,0.021/ <0.01-0.060(n=38)/ 0.036-0.169(n=4)/<0.01- 0.077(n=30)(+)	0.1
さといも類(やつがしらを含む)	0.05		0.1					0.5	0.02		アメリカ	<0.009(#),<0.009(#)	0.1
かんしょ	0.1		0.1			<0.01,<0.01		0.5	0.02		アメリカ	<0.005,<0.005	0.1
やまいも(長いもをいう)	0.02		0.1					0.5	0.02		アメリカ		0.1
こんにゃくいも	0.02		0.1					0.5	0.02		カナダ		0.1
その他のいも類	0.02		0.1					0.5	0.02		アメリカ		0.1
てんさい	0.1		0.1			<0.01(#),<0.01(#)		0.1	0.02		カナダ	<0.005,<0.005	0.1
さとうきび	0.02								0.02		カナダ		
だいこん類(ラディッシュを含む)の根	0.1		0.1			0.016,0.014			0.02		アメリカ		0.1
だいこん類(ラディッシュを含む)の葉	5		5			0.84,2.26		2	0.80		アメリカ		5
かぶ類の根	0.02		0.1						0.02		アメリカ	[米国大根の根を参考: (<0.01-0.04(n=34)(+))]	0.1
かぶ類の葉	0.02		5					2	0.02		カナダ		5
西洋わさび	0.02		0.1						0.02		アメリカ	[米国大根の根を参考]	0.1
クレソン	0.02		5					2	0.02		カナダ		5
はくさい	0.1							1	0.02		カナダ	<0.005,<0.005/0.007,0.020(\$)	0.5
キャベツ	0.5	登録申請中				0.18,0.16		1	0.02		カナダ	0.028(#),<0.005(#)	0.5
芽キャベツ	0.02		5					2	0.02		カナダ		5
ケール	0.02		5					2	0.02		カナダ		5
こまつな	0.5		5					2	0.02		カナダ	0.082(#),0.137(#)	5
きょうな	5	経過措置	5					2	0.02		カナダ		5
カリフラワー	0.02		5					2	0.02		カナダ		5
ブロッコリー	0.3		5					2	0.02		カナダ	0.086(#),0.019(#)	5
その他のあぶらな科野菜	5	経過措置	5					2	0.02		カナダ		5
ごぼう	0.02		0.1						0.02		アメリカ	[米国大根の根を参考]	0.1

食品名	基準値案 ppm	クロチアニジン				作物残留試験成績 ppm	登録有無	チアマトキサム			チアマトキサム由来 クロチアニジン 作物残留試験成績 ppm	暫定基準案 (2次案)	
		登録有無	参考基準値					登録有無	参考基準値				
			登録保留 基準値 ppm	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm				登録保留 基準値 ppm	国際 基準 ppm			外国 基準値 ppm
サルシフィー	0.02		0.1					0.02	アメリカ	[米国大根の根を参考]	0.1		
アーティチョーク	2		5			経過措置	2	0.02	カナダ		5		
チコリ	2		5			経過措置	2	0.02	カナダ		5		
エンダイブ	2		5			経過措置	2	0.02	カナダ		5		
しゅんぎく	0.02		5				2	0.02	カナダ		5		
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む)	3		5		0.58(#),1.33(#,\$)	経過措置	2	0.02	カナダ	参考にできるデータなし	5		
その他のさく科野菜	2		5			経過措置	2	0.02	アメリカ		5		
たまねぎ	0.02							0.02	カナダ				
ねぎ(リーキを含む)	0.5		5		0.05(#),0.14(#)/0.09(#),0.13(#)		2	0.02	カナダ	0.022,0.022/0.059,0.076	5		
にんにく	0.02							0.02	カナダ				
アスパラガス	0.02		5				2	0.02	カナダ		5		
わけぎ	2		5			緊急	2	0.02	カナダ		5		
その他のゆり科野菜	2		5			経過措置	2	0.02	カナダ		5		
にんじん	0.02		0.1					0.02	アメリカ	<0.01(n=14)/<0.01(n=14)/ <0.01(n=4)(+)	0.1		
パースニップ	0.02		0.1					0.02	アメリカ	[米国にんじんを参考]	0.1		
パセリ	2		5			経過措置	2	0.02	カナダ		5		
セロリ	5	経過措置	5			経過措置	2	0.02	カナダ		5		
みつば	0.02		5				2	0.02	カナダ		5		
その他のせり科野菜	2		5			経過措置	2	0.02	アメリカ		5		
トマト	2	緊急	2				0.5	0.25	アメリカ		2		
ピーマン	3	登録申請中			1.21,1.02		1	0.25	アメリカ	0.008,0.005/0.016,0.016	0.5		
なす	1		2		0.29,0.38		0.5	0.25	アメリカ	<0.005,<0.005/<0.005,<0.005/ <0.005,<0.005/<0.005,<0.005	2		
その他のなす科野菜	1					経過措置	1	0.25	アメリカ		0.5		
きゅうり(ガーキンを含む)	2		2		0.70(\$),0.22		0.5	0.2	アメリカ	<0.005,<0.005/0.005,0.006/ 0.010,0.008/0.008,0.008	2		
かぼちゃ(スカッシュを含む)	0.4		2			経過措置	0.5	0.2	アメリカ		2		
しろりり	0.02		2				0.5	0.2	アメリカ	[米国Cantaloupeを参考: <0.01(n=24)(+)]	2		
すいか	0.1		0.5		0.022,0.011		0.5	0.2	アメリカ	<0.005,0.007	0.5		
メロン類果実	0.2		0.5		0.038,0.012		0.5	0.2	アメリカ	0.008,0.014,0.006,<0.005, <0.005,<0.005/<0.005,<0.005	0.5		
まくわうり	0.02		0.5				0.5	0.2	アメリカ	[米国Cantaloupeを参考]	0.5		
その他のうり科野菜	2	経過措置	2			経過措置	0.5	0.2	アメリカ		2		
ほうれん草	0.02		5				2	0.02	カナダ		5		
オクラ	1		0.1			経過措置	1	0.02	カナダ		0.5		
しょうが	0.02							0.02	アメリカ		0.1		
未成熟えんどう	0.02		0.1				0.5	0.02	アメリカ		0.3		
未成熟いんげん	0.5						0.5	0.02	アメリカ	0.074,0.118(\$)	0.3		

食品名	基準値案 ppm	クロチアニジン				作物残留試験成績 ppm	登録有無	チアムキサム			チアムキサム由来 クロチアニジン 作物残留試験成績 ppm	暫定基準案 (2次案)	
		登録有無	参考基準値					登録有無	参考基準値				
			登録保留 基準値 ppm	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm				登録保留 基準値 ppm	国際 基準 ppm			外国 基準値 ppm
えだまめ	0.2							0.5	0.02	アメリカ	0.028(#,\$),0.019(#)	0.3	
マッシュルーム	0.02								0.02	カナダ			
しいたけ	0.02								0.02	カナダ			
その他のきのこ類	0.02								0.02	カナダ			
スペアミント	0.3								1.5	アメリカ	0.064-0.13(n=5)(+)(Mintとして)		
ペパーミント	0.3								1.5	アメリカ	0.064-0.13(n=5)(+)(Mintとして)		
その他の野菜 (スペアミント及びペパーミントを除く。)	2	経過措置	0.1				登録申請中・ 経過措置	2	0.02	アメリカ	<0.005,<0.005/<0.005,<0.005	5	
みかん	1		1			0.25(\$),0.086		0.5	0.2	オーストラリア	0.007,<0.005/ 0.013,<0.005,0.014,0.022	1	
なつみかん													
なつみかんの外果皮													
なつみかんの果実全体	2		2			0.12,0.73(\$)		0.5	0.2	オーストラリア	0.041,0.044	2	
レモン	2		2					0.5	0.2	オーストラリア		2	
オレンジ(ネーブルオレンジを含む)	2		2					0.5	0.2	オーストラリア		2	
グレープフルーツ	2		2					0.5	0.2	オーストラリア		2	
ライム	2		2					0.5	0.2	オーストラリア		2	
その他のかんきつ類果実	2		2					0.5	0.2	オーストラリア		2	
りんご	1		0.5	1.0	アメリカ			1	0.2	アメリカ		0.5	
日本なし	1		0.5	1.0	アメリカ			1	0.2	アメリカ		0.5	
西洋なし	1		0.5	1.0	アメリカ			1	0.2	アメリカ		0.5	
マルメロ	1		0.5	1.0	アメリカ			1	0.2	アメリカ		0.5	
びわ	1		0.5	1.0	アメリカ			0.5	0.2	アメリカ		0.5	
もも	0.5		0.5			0.12,0.084		0.5	0.5	アメリカ	0.046,0.080	0.5	
ネクタリン	0.2		0.5					1	0.5	アメリカ	[米国ももを参考: (<0.01-0.12(n=28)(+))]	0.5	
あんず(アブリコットを含む)	0.2		5					5	0.5	アメリカ	[米国ももを参考]	5	
すもも(プルーンを含む)	5	経過措置	5					5	0.5	アメリカ		5	
うめ	3		5			0.97,1.12(#)		5	0.02	カナダ	0.12,0.24	5	
おうとう(チェリーを含む)	5		5			1.08,1.96		5	0.5	アメリカ	0.12,0.14	5	
いちご	0.05		5					5	0.3	アメリカ	0.01(#),0.01(#)	5	
ラズベリー	0.02		5					5	0.02	カナダ		5	
ブラックベリー	0.02		5					5	0.02	カナダ		5	
ブルーベリー	0.1		5					5	0.20	アメリカ	<0.01-0.05(n=18)/<0.01- 0.02(n=4)/ <0.01-0.01(n=4)/<0.01(n=14)(+)	5	
クランベリー	0.02		5					5	0.02	アメリカ	<0.01(n=6)(+)	5	
ハuckleベリー	0.1		5					5	0.20	アメリカ	[米国ブルーベリーを参考]	5	
その他のベリー類果実	0.1		5					5	0.20	アメリカ	[米国ブルーベリーを参考]	5	
ぶどう	3		5			0.51,1.43		5	0.02	カナダ	0.12,0.053	5	
かき	0.5		0.5			0.11,0.14		1	0.02	カナダ	0.012,0.019	0.5	
バナナ	1		0.5				経過措置	1	0.02	カナダ		0.5	
キウィー	0.02		0.5					0.5	0.02	カナダ		0.5	

食品名	基準値案 ppm	クロチアニジン				作物残留試験成績 ppm	チアムトキサム				暫定基準案 (2次案)	
		登録 有無	参考基準値				登録 有無	参考基準値				チアムトキサム由来 クロチアニジン 作物残留試験成績 ppm
			登録保留 基準値 ppm	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm			登録保留 基準値 ppm	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
パパイヤ	1	経過措置	0.5			経過措置	1	0.02	カナダ		0.5	
アボカド	0.02		0.5				1	0.02	カナダ		0.5	
パイナップル	0.02		0.5				1	0.02	カナダ		0.5	
グアバ	1		0.5			経過措置	1	0.02	カナダ		0.5	
マンゴー	1	経過措置	0.5			経過措置	1	0.02	カナダ		0.5	
パッションフルーツ	1		0.5			経過措置	1	0.02	カナダ		0.5	
なつめやし	0.02		0.5				5	0.02	カナダ		5	
その他の果実	4		5			経過措置	5	0.25	アメリカ		5	
ひまわりの種子	0.02							0.02	アメリカ	<0.02(n=14)(+)	0.01	
ごまの種子	0.02							0.02	カナダ			
べにばなの種子	0.02							0.02	アメリカ	[米国ひまわりの種子を参考]		
綿実	0.02							0.10	アメリカ	<0.01(n=20)/<0.01(n=22)(+)	0.03	
なたね	0.01			0.01	アメリカ			0.02	アメリカ		0.01	
その他のオイルシード	0.02							0.02	アメリカ	[米国なたねを参考: (<0.01(n=10)(+)]	0.01	
ぎんなん	0.02							0.02	カナダ			
くり	0.02							0.02	カナダ			
ペカン	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
アーモンド	0.02							0.02	カナダ			
くるみ	0.02							0.02	カナダ			
その他のナッツ類	0.02							0.02	カナダ			
茶	50		50			37.6(\$),2.42,9.92/36.4,2.27,8.70	15	0.02	カナダ	0.25,0.07/0.23,0.06	50	
コーヒー豆	0.04							0.05	アメリカ		0.03	
カカオ豆	0.02							0.02	カナダ			
ホップ	0.02							0.02	カナダ			
牛の筋肉	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
豚の筋肉	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
羊の筋肉	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
馬の筋肉	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
山羊の筋肉	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
牛の脂肪	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
豚の脂肪	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
羊の脂肪	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
馬の脂肪	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
山羊の脂肪	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
牛の肝臓	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
豚の肝臓	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
羊の肝臓	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
馬の肝臓	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
山羊の肝臓	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
牛の腎臓	0.02							0.02	アメリカ		0.01	

食品名	基準値案 ppm	クロチアニジン				作物残留試験成績 ppm	登録有無	チアマトキサム			チアマトキサム由来 クロチアニジン 作物残留試験成績 ppm	暫定基準案 (2次案)
		参考基準値			参考基準値							
		登録有無	登録保留 基準値 ppm	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm			登録保留 基準値 ppm	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
豚の腎臓	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
羊の腎臓	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
馬の腎臓	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
山羊の腎臓	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
牛の食用部分	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
豚の食用部分	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
羊の食用部分	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
馬の食用部分	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
山羊の食用部分	0.02							0.02	アメリカ		0.01	
乳	0.01			0.01	アメリカ	<0.01		0.02	アメリカ		0.01	
鶏の筋肉	0.02							0.02	オーストラリア		0.01	
その他の家禽の筋肉	0.02							0.02	オーストラリア		0.01	
鶏の脂肪	0.02							0.02	オーストラリア		0.01	
その他の家禽の脂肪	0.02							0.02	オーストラリア		0.01	
鶏の肝臓	0.02							0.02	オーストラリア		0.01	
その他の家禽の肝臓	0.02							0.02	オーストラリア		0.01	
鶏の腎臓	0.02							0.02	オーストラリア		0.01	
その他の家禽の腎臓	0.02							0.02	オーストラリア		0.01	
鶏の食用部分	0.02							0.02	オーストラリア		0.01	
その他の家禽の食用部分	0.02							0.02	オーストラリア		0.01	
鶏の卵	0.02							0.02	オーストラリア		0.01	
その他の家禽の卵	0.02							0.02	オーストラリア		0.01	

注1) きょうな、非結球芽キャベツ、セロリ、ニガウリ、食用ヘチマ、トウガン、れんこん、すもも、パパイヤ及びマンゴーについては、農薬取締法第12条の規定に基づく農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令第2条第1項の経過措置に対応し、農林水産省において、登録保留基準の範囲内でマイナー作物としてクロチアニジン使用を承認している。

注2) バジル、アセロラ、ウレイ、ニラ、トウガン、セルリー、非結球レタス、エンサイ、モロヘイヤ、マンゴー、トウガラシ類、シシトウ、実エンドウ、ミョウガ、アーティチョーク、アマランサス(葉)、エストラゴン、エンダイブ、オレガノ、カラシナ、コリアンダー、食用月桂樹、食用タンポポ、セージ、ソレル、タイム、チコリ、チャービル、ディル、トレビツ、パセリ、ハッカ、フェネル、マジョラム、ミズナ、ルッコラ、レモングラス、レモンバーム、ローズマリー、アケビ、カボチャ、グアバ、グアバ(葉)、食用ヘチマ、ニガウリ、パッションフルーツ、バナナ、パパイヤ及びオクラについては、農薬取締法第12条の規定に基づく農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令第2条第2項の経過措置に対応し、農林水産省において、登録保留基準の範囲内でマイナー作物としてチアマトキサム使用を承認している。

注3) 米国基準がチアマトキサムの当該作物にあり、米国での作物残留試験が行われていない場合、参考とした作物残留試験成績について、[米国 を参考]と記し、当該作物の作物残留試験成績を示した。

注4) "#"を付記した作物残留試験成績は、適用範囲内で試験がなされていない。

注5) "+"を付記し、斜体字で記した作物残留試験成績は、米国における作物残留試験成績である。

注6) "\$"を示した、クロチアニジンのレタス、きゅうり、みかん、なつみかん、茶、チアマトキサムのいんげん、未成熟いんげん、えだまめ、はくさいは、作物残留試験成績のばらつきを考慮し、最大残留値を暴露評価に用いた。



# クロチアニジンの基準作成方法

(別紙3)

農薬名 クロチアニジン

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	クロチアニジン			作物残留試験成績 ppm	登録 有無	チアトキサム			チアトキサム由来 クロチアニジン 作物残留試験成績 ppm	暫定基準案 (2次案)
				参考基準値					参考基準値				
				登録保留 基準値 ppm	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm			登録保留 基準値 ppm	国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		

## 作物残留試験成績に基づいて基準値を設定した場合

$$[\text{クロチアニジン基準値}] = [\text{クロチアニジン使用に基づく作物残留試験成績におけるクロチアニジンの残留値}] + [\text{チアトキサム使用に基づく作物残留試験成績におけるクロチアニジンの残留値}]$$

米(玄米をいう)	0.5			0.5			0.13,0.10/<0.004,0.026/ 0.02,0.023	登録申請中	0.1	0.02	カナダ	<0.005,<0.005	0.5
----------	-----	--	--	-----	--	--	---------------------------------------	-------	-----	------	-----	---------------	-----

## 登録保留基準を採用した場合(いわゆるマイナー農作物等)

基準値設定に当たっては、登録保留基準値を基本とした。

きょうな	5		経過措置	5				経過措置	2	0.02	カナダ		5
------	---	--	------	---	--	--	--	------	---	------	-----	--	---

## 海外基準値を参考に基準値を設定した場合

$$[\text{クロチアニジン基準値}] = [\text{クロチアニジン海外基準値}] \text{ または } [\text{チアトキサム海外基準値}] \times \text{換算係数}$$

とうもろこし	0.01				0.01	アメリカ				0.02	アメリカ		0.01
--------	------	--	--	--	------	------	--	--	--	------	------	--	------

答申(案)

クロチアニジン

食品名	残留基準値
	ppm
米(玄米をいう。)	0.5
小麦	0.02
大麦	0.02
ライ麦	0.02
とうもろこし	0.01
そば	0.02
その他の穀類(注1)	0.02
大豆	0.1
小豆類(いんげん, ささげ, サルタニ豆, サルタピア豆, バター豆, ペギア豆, ホワイト豆, ライマ豆及びレンズを含む。)	0.3
えんどう	0.02
そら豆	0.02
らつかせい	0.02
その他の豆類(注2)	0.02
ばれいしょ	0.25
さといも類(やつがしらを含む。)	0.05
かんしょ	0.1
やまいも(長いもをいう。)	0.02
こんにやくいも	0.02
その他のいも類(注3)	0.02
てんさい	0.1
さとうきび	0.02
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.1
だいこん類(ラディッシュを含む。)	5
かぶ類の根	0.02
かぶ類の葉	0.02
西洋わさび	0.02
クレソン	0.02
はくさい	0.1
キャベツ	0.5
芽キャベツ	0.02
ケール	0.02
こまつな	0.5
きょうな	5
カリフラワー	0.02
ブロッコリー	0.3
その他のあぶらな科野菜(注4)	5
ごぼう	0.02
サルシフィー	0.02
アーティチョーク	2
チコリ	2
エンダイブ	2
しゆんぎく	0.02
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	3
その他のきく科野菜(注5)	2
たまねぎ	0.02
ねぎ(リーキを含む。)	0.5
にんにく	0.02
アスパラガス	0.02
わけぎ	2
その他のゆり科野菜(注6)	2

クロチアニジン(つづき)

食品名	残留基準値
	ppm
にんじん	0.02
パースニップ	0.02
パセリ	2
セロリ	5
みつば	0.02
その他のせり科野菜(注7)	2
トマト	2
ピーマン	3
なす	1
その他のなす科野菜(注8)	1
きゅうり(ガーキンを含む。)	2
かぼちや(スカッシュを含む。)	0.4
しろうり	0.02
すいか	0.1
メロン類果実	0.2
まくわうり	0.02
その他のうり科野菜(注9)	2
ほうれんそう	0.02
オクラ	1
しょうが	0.02
未成熟えんどう	0.02
未成熟いんげん	0.5
えだまめ	0.2
マッシュルーム	0.02
しいたけ	0.02
その他のきのこ類(注10)	0.02
スペアミント	0.3
ペパーミント	0.3
その他の野菜(スペアミント及びペパーミントを除く。)(注11)	2
みかん	1
なつみかんの果実全体	2
レモン	2
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	2
グレープフルーツ	2
ライム	2
その他のかんきつ類果実(注12)	2
りんご	1
日本なし	1
西洋なし	1
マルメロ	1
びわ	1
もも	0.5
ネクタリン	0.2
あんず(アプリコットを含む。)	0.2
すもも(プルーンを含む。)	5
うめ	3
おうとう(チェリーを含む。)	5
いちご	0.05
ラズベリー	0.02
ブラックベリー	0.02
ブルーベリー	0.1

クロチアニジン(つづき)

食品名	残留基準値 ppm
クランベリー	0.02
ハックルベリー	0.1
その他のベリー類果実(注13)	0.1
ぶどう	3
かき	0.5
バナナ	1
キウイ	0.02
パパイヤ	1
アボカド	0.02
パイナップル	0.02
グアバ	1
マンゴー	1
パッションフルーツ	1
なつめやし	0.02
その他の果実(注14)	4
ひまわりの種子	0.02
ごまの種子	0.02
べにばなの種子	0.02
綿実	0.02
なたね	0.01
その他のオイルシード(注15)	0.02
ぎんなん	0.02
くり	0.02
ペカン	0.02
アーモンド	0.02
くるみ	0.02
その他のナッツ類(注16)	0.02
茶	50
コーヒー豆	0.04
カカオ豆	0.02
ホップ	0.02
牛の筋肉	0.02
豚の筋肉	0.02
羊の筋肉	0.02
馬の筋肉	0.02
山羊の筋肉	0.02
牛の脂肪	0.02
豚の脂肪	0.02
羊の脂肪	0.02
馬の脂肪	0.02
山羊の脂肪	0.02
牛の肝臓	0.02
豚の肝臓	0.02
羊の肝臓	0.02
馬の肝臓	0.02
山羊の肝臓	0.02
牛の腎臓	0.02
豚の腎臓	0.02
羊の腎臓	0.02
馬の腎臓	0.02
山羊の腎臓	0.02

クロチアニジン(つづき)

食品名	残留基準値 ppm
牛の食用に供される部分(筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓を除く。以下単に「食用部分」という。)	0.02
豚の食用部分	0.02
羊の食用部分	0.02
馬の食用部分	0.02
山羊の食用部分	0.02
乳	0.01
鶏の筋肉	0.02
その他の家きんの筋肉(注17)	0.02
鶏の脂肪	0.02
その他の家きんの脂肪	0.02
鶏の肝臓	0.02
その他の家きんの肝臓	0.02
鶏の腎臓	0.02
その他の家きんの腎臓	0.02
鶏の食用部分	0.02
その他の家きんの食用部分	0.02
鶏の卵	0.02
その他の家きんの卵	0.02

- 注1)「その他の穀類」とは、穀類のうち、米、小麦、小麦粉、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。
- 注2)「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆及びらつかせい以外のものをいう。
- 注3)「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類、かんしょ、やまいも及びこんにやくいも以外のものをいう。
- 注4)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、カリフラワー及びブロッコリー以外のものをいう。
- 注5)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく及びレタス以外のものをいう。
- 注6)「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ、にんにく、アスパラガス及びわけぎ以外のものをいう。
- 注7)「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ及びみつば以外のものをいう。
- 注8)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。
- 注9)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり、かぼちや、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。
- 注10)「その他のきのこ類」とは、きのこ類のうち、マッシュルーム及びしいたけ以外のものをいう。
- 注11)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ及びきのこ類以外のものをいう。
- 注12)「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ、グレープフルーツ及びライム以外のものをいう。
- 注13)「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハuckleベリー以外のものをいう。
- 注14)「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず、すもも、うめ、おうとう、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし以外のものをいう。
- 注15)「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実及びなたね以外のものをいう。
- 注16)「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。
- 注17)「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。